

情報科 学習指導案			
単元名	・情報社会と問題解決 「社会と情報」		
単元の目標 (単元で育成する資質・能力)	① 情報格差について、その原因や実態について理解し、社会などに及ぼす影響について調べ、それを改善するための方法を見つけ出す。 ② 情報を収集・整理する方法を学び、得られた情報を関連付けて図解したり、表を作成して一覧の形式にまとめたりするなどの情報を整理する工夫をする。また、文章を読み解き、意味や内容を分析し、見つけ出した有用な情報を論理的に説明する。		
具体的な評価規準			
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
情報機器を活用し、課題について調べることができ、表計算ソフトに調べたデータをまとめ分析することができる。また、情報格差の原因や実態について理解している。	目的をもって情報を収集・分析し、論理的に思考することができ、意見をまとめ、情報モラル等の観点も含め、適切な判断ができる。	課題について調べ、答えを見つけ出そうと工夫しようとしている。また、考えや答えをまとめ文章化し、相手に分かりやすく説明できるように工夫しようとしている。	
単元計画			
次	時	評価規準と評価方法	学習活動
一	1 2	【評価規準】 情報社会が抱える問題について理解する。また、よりよい情報社会を築くために必要な取り組みについて理解する。 (知識・理解) 【評価方法】 行動の観察	① 情報格差を理解するため、「スキルによる格差」を実体験し、答えを見つけるため工夫する。 ② 情報社会が抱える問題について原因を理解し、解決策を見つけ出す。
二	3 4 5	【評価規準】 適切な問題設定を行い、注意深く分析し、解決の糸口を見つけることができる。 無理のない適切な仮説を立てることができる。グループでの問題解決に、貢献しようという姿勢を持つ。(思考・判断・表現) 【評価方法】 行動の分析 記述の確認	③ 問題とは何かを理解し、「目的地までの経路」について「理想的な状態」を考え、「現実」とのギャップをとらえて「問題」を設定する。 ④ 問題解決に役立つ手法があることを知り、いくつかの手法を使って、実践する。 ⑤ 問題が明確化すると、解決策の検討がしやすくなることを体験する。
三	6 7	【評価規準】 自身の問題意識を元に仮説を立て、仮説検証に必要なデータを入手し、相関を調べることができる。検証結果をもとに、レポートを通して適切な考察を述べることができる。 【評価方法】 行動の観察 記述の点検	⑥ ロジックツリーを使って、問題の解決策を見つけ出す。また、2種類のロジックツリーを使い分ける。 ⑦ 「アンケート調査」や「問題の解決策」の実施方法を知り、解決策の設定をする。